

# 好学尚武

市立浦和高等学校野球部通信

発行者 鈴木 諭

発行日

R 4 . 8 . 1

## 練習試合の結果

7月29日（金）対大宮東高校

第1試合 試合中止

第2試合 試合中止

7月30日（土）対盈進東野高校

第1試合 試合中止

第2試合 試合中止

7月31日（日）市高カップ初日

対草加南高校 5×対4 勝利

対庄和高校 試合中止

通算成績 3勝

## 市高カップ2日目について

市高カップ初日の結果が上記のような形になったため、2日目（8月2日）は以下のような形で実施することとなりました。

### ○ 初日勝利チームリーグ

市立浦和・草加西・草加東

会場・・・市立浦和

（この中から本年度の優勝チームを決めます）

### ○ 初日敗退チームリーグ

岩槻北陵・越ヶ谷

会場・・・草加東

なお、来年も、7月31日（月）と8月2日（水）の2日間で実施予定であることを記しておきます（備忘録として）。

## ここまで・ここから

人生良い時ばかりではありません。

令和4年7月、私達は悔しい敗戦をし、再出発しようとしてスタートしたところで（もう何度目でしょう）感染症による活動停止という日々を過ごすこととなりました。

夏、楽しみにしていたのが関西遠征でした。強豪・明石商業高校との試合、部員皆での宿泊や新幹線利用など・・・楽しみにしていましたが、これも中止に追い込まれてしまいました。

（前にも書いていますが）私自身、市高を卒業して30年近く経ってもよく覚えているのは（野球のプレーよりも）合宿等、皆で楽しく過ごした日々のことなのです（やたら狭い公民館みたいな所に大人数で泊ったこと、その夜のバーベキューや花火、部員皆でやった枕投げ戦争、何故実施されたのか分からないスキー合宿や父母会も参戦しての本気のボーリング大会（確かボーリング場貸し切りだったような・・・挙げたらキリがありません））。

部員に（野球だけでなく）様々なことを経験させる・・・指導者として一番してあげたいことができないもどかしさ・・・また（相手がウイルス感染という）その怒りをぶつける場所のないことがよりイライラを募らせます。

私達大人が決して忘れてはならないこと・・・それは高校生にとって高校生活は1度キリだということです。「来年できればいいや～」は現2年生にとって通用しない言葉なのです。

15日（月）から行われる南部地区新人大会に無事出場できるでしょうか・・・市高野球部、ピンチです。